

第2回 SGH・さくら塾（社会連携セミナー）

SGH◆地域社会研究「多文化共生と教育・地域」

講師：愛知淑徳大学准教授 小島 祥美 先生

平成26年6月9日(月)13:30～15:00

全学年の受講希望者17名を対象に実施

岐阜県人のブラジル移民史を通じて地域における多文化共生の在り方を考えました！



- 自己紹介のあと、4つのグループに分かれて、先生が用意した7枚のカードから「ブラジル移民の歴史」を、4枚の絵カードから「岐阜県人とブラジル移民の歴史」を理解しました！
- 移民者とのつながりから関市と姉妹都市となったブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市との関係について理解を深めました！
- 県内に暮らすブラジル人青少年たちの思いから、同世代の若者たちの思いを考えました。



- 地域住民として多文化共生が進む関市の中で、私たち・僕たちができることを考え、グループ内で発表しました。

生徒の感想

- ・ブラジルと日本の関係がこんなにもあったのかと知ってびっくりした。(1年)
- ・日本人ももっと英語を話せるようになればコミュニケーションもとれて交流が深まるかなと思った。(1年)
- ・英語を単なる受検勉強科目でなく、世界を知る便利なツールの一つとして使っていきたい。(2年)
- ・岐阜県、日本についてもっと知りたいと思った。(2年)
- ・大学の学部について悩んでいるので、いろいろな話が聞けて良かった。(2年)
- ・大学の授業の雰囲気が分かった。(3年)
- ・自分の国の文化に興味を持ち、誇りを持って世界に発信していけるようになりたい。(3年)
- ・高校の授業と違う雰囲気で面白かった。多文化共生のために自分のできることをしていきたい。(3年)